

令和5年度 第1回学校給食用物資選定懇談会 議事録概要

1 **日時** 令和5年7月25日（火）午後3時から午後3時40分まで

2 **場所** 生涯学習センターけやき 第2会議室

3 **議題**

（1） 学校給食用物資選定懇談会について

（2） 令和5年度下半期（10月～3月）使用物資について

ア 学校給食用物資について

イ 一般物資について

ウ 選択制物資について

エ 新規物資について

（3） その他

4 **出席者** 井上智子校長、村上文彦保護者の代表、中村舞衣学校栄養職員、石井恭子学校栄養職員、桐山袈遥学校栄養職員、五代真由栄養教諭、神代純花栄養教諭、石川春菜学校栄養職員

5 **欠席者** 綾部敏信校長、鈴木和宏保護者の代表

6 **事務局** 竹井保健給食課長、田邊給食係長、増田給食係長

7 **議事概要**

（1）開会

ア 会議の公開について

事務局より小田原市学校給食用物資戦隊懇談会設置要綱 第4条によりこの会議は公開になることを説明。

イ 保健給食課長挨拶

（2）議題

（1） 学校給食用物資選定懇談会について

事務局より学校給食費の公会計化に伴い、学校給食用物資については、小田原市で選定することとなった。この会は、学校給食用物資の選定にあたって給食関係者から意見を聴取するために設置するものであると説明した。

（2） 令和5年度下半期（10月～3月）使用物資について

ア 学校給食用物資について

物資資料の資料 1 学校給食用物資について、事務局から説明、質問なし。

イ 一般物資について

資料 2 令和 5 年度下半期一般物資一覧について事務局から説明、質問なし。

ウ 選択制物資について

資料 3 令和 5 年度下半期選択制物資について、事務局から説明、質問なし。

エ 新規物資について

新規物資について事前に栄養教諭及び学校栄養職員から希望を募ったところ、何点か希望があったが、業者から資料が期日までに揃わなかったため、今回は事務局提案物資のみあったことを説明、業者からの新規登録物資用の必要書類を審査し、資料 4 に一覧、資料 5 に詳細を示し、新規登録を考えていると説明。

神奈川県産さといもコロッケについては、試食を実施。

(3) その他

【保護者代表の村上委員】

学校運営協議会の委員もやらせてもらっていて、三の丸小の給食を食べる機会があるが、自分が子どもの頃よりだいぶおいしくなっていて、パンもふわふわで、昔の食パンはパサパサで、牛乳と一緒に食べないと食べられなかった。今の子は本当においしい給食を毎日食べられて、幸せだなと思う。大人の感覚では量が少ない気もするが、食べる量は個人差があるので、きちんと栄養やバランスを考えられていて有難い。

○栄養教諭及び学校栄養職員からこの場で伝えておきたいことについて

＜第 1 ブロックの中村学校栄養職員＞

5 月よりコロナが 5 類に移行したことを受けて、黙食が緩和され会話が増えて、和やかな雰囲気の中で給食を食べることが出来ている。9 月からもコロナがなくなったわけではないので、基本的な感染対策を継続しながら、子供たちが楽しい給食時間を送れるように、柔軟に対応していきたい。

＜第 2 ブロックの石井学校栄養職員＞

物価高騰の中で、国の栄養基準を満たすために、各校の栄養士が工夫しながら献立作成を行っている。コロナ禍では、前向きで楽しい雰囲気ではなかったが、今年度 5 類になったが、感染症がなくなったわけではないので、食事のマナーを守るという目標をたてて食事をしている。給食時間が楽しい時間になるようにしていきたい。また、1 人 1 台クロムブックを使えるので、それらを活用し、食育を行っている。ICT を活用することで、普段見られない給食室の様子や動画を見

ることで、以前よりも食への興味関心が高まっていると手応えを感じている。

<第3ブロックの桐山学校栄養職員>

今年度は特に物価上昇が激しく、栄養価を保つのが難しいが、10月からは値下げされている物資もあるので、食材を上手く組み合わせて栄養価が維持できるように工夫していきたい。9月は残暑も厳しいが、おいしく食べてもらえるように工夫したい。

<第4ブロックの五代栄養教諭>

他の栄養士からも話が合った通り、今年度は特に物価が上昇しているが、エネルギーやビタミンCなどの栄養価は上げにくい中で、各校栄養士が工夫して献立作成をしてきた。コロナが5類に移行してから、子供たちの話の話題になるようにと、ALTの出身国の献立を取り入れたり、今回の新規物資の地産地消のメニューを取り入れたりして、食育に関連付けていきたい。

<第5ブロックの神代栄養教諭>

他の栄養士からも話が合った通り、現在の物価高騰にはとても苦労している。今回値下げの物資もあるので、決められた範囲で十分な栄養価がとれるよう、新規物資などもとりいれながら、献立を工夫していきたい。給食室での手間を考えれば価格が抑えられる部分もあるが、今年も猛暑で、40℃近くになる日も多く、湿度も70%だったりするので、調理員が倒れないのが不思議なくらいだが、調理員への負担と価格と栄養価のバランスのとれた献立作成や物資の選定をしていきたい。昨年度末から地場産の魚や野菜を積極的に入れていただけており、子供たちに伝えながら、小田原がより好きになってもらえるように食事の面からアプローチしていきたい。

<共同調理場の石川学校栄養職員>

物価の高騰を受けて、従来通りの献立の提供が難しかったり、栄養価の面でも基準値を満たすことが厳しかったりして自分の中でも課題になっている。そんな中で、残食を見ながら適切な食材の使用量を把握することも自分の中で課題となっている。今後とも安心安全な給食の提供が出来るように栄養士調理員一同で努めていきたい。

【小学校の校長代表の矢作小学校の井上校長】

神奈川県産さといもコロケの感想として、里芋が嫌いな子供もいるが、じゃがいもと合わさってほどよい感じで、とてもおいしかった。新規物資については、各校栄養士の選択であるとのことなので、日々栄養職員の皆さんには、物価高で献立を苦労して立ててもらっていることに感謝している。給食のメニューが行事と関わっていたり、季節と関わっていたりすることで、子供たちの食もすすむので、これからもこれらの工夫をしていただきたい。小田原でこんなものがとれるという現状を知らない子供も多いので、給食の放送で聞きながら学べることも多い。また、保護者の方から話が合ったように、ひとり一人食べる量に個人差があったり、好き嫌いがあったりして、給食で初めて食べた、というような食材もあったりするので、初めて食べることでこれはおいしいんだ、と世界が広がっている子もいるので、物価高は大変だと思うが、これからも安全でおいしい給食の提供をお願いしたい。

【事務局】

物価高により、栄養士の皆さんが苦勞されているのは十分承知している。今回の新規物資であるブリは本課だけでは市内のものを調達することは難しいので、水産海浜課と連携し、農産物においては、農政課や青果市場と協力して、今回の取り組みに繋がっている。それらがきちんと価格に反映されるように取り組みを続けていきたいと考えているので、使用率が上がるように栄養士の皆さんにはご協力いただきたい。

【保護者代表村上委員】

給食費は小田原市から補助が出ているのか。

【事務局】

昨年度から保護者負担を上げることなく、市の予算を確保している旨を説明。先生方においては、今年度から物価高騰分について負担していただいている。

【保護者代表村上委員】

小田原市は全額、市で負担するという議論はないのか。

【事務局】

議会でも質問があった。国で議論が始まっている。各市町村で動きがあるところもあるが、法律で食材は保護者負担と謳っている現状もあるため、国が法律を改正するのか、統一的な方向性を確立してもらいたいと、市で要望を出している。現時点では、物価高騰分についてはあまりにも急激すぎるため、暫定的に市費を充当させていただき、保護者負担の値上がりがないように工夫をさせてもらっている。

事務連絡、令和5年度下半期の一般物資、選択制物資、新規物資について頂いた意見を参考にして決定する。9月には、各学校栄養教諭および学校栄養職員に物資の価格表を送付する予定。

次回、令和5年度第2回物資選定懇談会は、令和6年2月7日（水）に生涯学習センターけやきで予定。